

JFA 第22回全日本女子フットサル選手権大会栃木県大会 実施要項

1. 名 称 JFA 第22回全日本フットサル選手権大会 栃木県大会

2. 主 催 (公社)栃木県サッカー協会

3. 主 管 (公社)栃木県サッカー協会フットサル委員会

4. 協 力 栃木県フットサル連盟

5. 日 程 ・ 会 場

11月 2日(日)日環アリーナ栃木サブ

9日(日) Earth いちごスポーツ交流館

6. 参 加 資 格

(1) フットサルチームの場合

- ① 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本協会」とする。）に「フットサル1種」、「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録を行った単独チームであること。
- ② 日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は、「フットサル1種」チームは、「フットサル2種」「フットサル3種」とし、「フットサル1種」の選手は適用対象外となる。「フットサル2種」チームは、「フットサル3種」のみとし、「フットサル2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ③ 前項のチームに所属する **2013年4月1日**以前に生まれた選手であること。女子に限る。
- ④ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(2) サッカーチームの場合

- ① 日本協会に「2種」、「3種」、または「女子」の種別で加盟登録を行った単独チームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2種」「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は「3種」年代のみとし、「2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 前項のチームに所属する **2007年4月2日以降 2013年4月1日以前**に生まれた選手であること。女子に限る。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(3) 選手は本大会1チームにのみ登録することができ、他の都道府県の大会を通して、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(5) チーム代表者は20歳以上で当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。ただし、複数のチームの代表者を兼ねることはできない。

(6) チームの責任において、傷害保険（スポーツ安全保険等）に加入していること。

(7) チームにフットサル審判資格を取得しているものが2名以上いること。

7. 参 加 チ ー ム 参加チームは、1加盟団体からの上限を1チームとする。

8. 大 会 形 式 （調整中）

(1) 1次ラウンドおよび決勝ラウンド方式とする。不戦勝の対戦成績は5-0とする。

※ 参加チーム数により、すべてノックアウト方式で実施することがある。

(2) 原則として、前年度上位チームを除く参加チームをグループに分けてリーグ戦を行い、上位チ

ームが決勝ラウンドへ進出する。

ただし、参加チーム数により、前年度上位チームの1次ラウンドからの参加もある。

(3) 決勝ラウンド：ノックアウト方式で行う。

1次ラウンド上位チームに、シードの前年度上位チームを加えた、ノックアウト方式とする。

9. 競技規則 大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

10. 競技会規定 以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ：原則として、40m×20mとする。(使用会場による)

(2) ボール：試合球：日本サッカー協会公認フットサル用ボールの4号球とする。

(3) 競技者の数：選手の数5名

交代要員の数9名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内

(4) チーム役員の数：5名以内(ただし、通訳が登録されている場合は6名以内とする。)

(5) ベンチ着席できる人数は、フットサル大会登録票によりあらかじめ登録され、試合前に提出したメンバー票に記載された交代要員9名・役員5名を含め14名を上限とする。

選手および役員を兼任する場合は、ベンチ入り人数において選手・役員双方に記入するものとする。また、役員が5名を超えない場合に限り、試合に出場しない登録選手を試合登録役員としてベンチ入りを認める。なお、この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装とする。

(6) 競技者の用具

① ユニフォーム

(ア) 日本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

(イ) 参加申込書に記載した正・副のユニフォーム(シャツ、ショーツおよびソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

(ウ) 正・副の2色については明確に異なる色とする。

(エ) チームユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(オ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

ただし、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォーム等で代用することができる。

(カ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(キ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(ク) ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示に生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

(ケ) 主審は、対戦するチームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

(コ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。

(サ) 膝および腕のプロテクターを着用する場合、シャツの袖の主たる色と(腕のプロテクター)、ショーツまたはトラックスーツのパンツの主たる色(膝のプロテクター)と同じ色でなければならない。過度に大きなものであってはならない。

色が合わせられない場合、シャツの袖やショーツ(または、着用する場合はトラックスーツのパンツ)がどのような色であっても、黒または白のプロテクターを着用することができる。ただし、着用するプロテクターの組合せは、白または黒ですべて同色でなければならない。

※ プロテクターの色組み合わせは競技者一人一人に適用され、各チームすべての競技者のプロテクターが同じ色、同じ組み合わせである必要はない。

(シ) ソックスにテープまたはその他の材質のものを、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。

(ス) アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。GKは除く。

(セ) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。GKは除く。

※ (シ)、(ス)、(セ)については、関東大会および全国大会では適用されない。

(ソ) その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規定に則る。

② シューズ：キャンバス、または柔らかい皮革製で靴底がゴム、または類似の材質でできており、接地面は凹凸がなく、飴色・白色もしくは無色透明のフットサルシューズトレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのものののみ使用可能とする。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

ただし、靴底が着色されたノンマーキングシューズの使用については、施設が許可をしている場合にのみ着用可能となるため、十分注意すること。

③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、使用しなければならない。

④ **キャプテンアームバンド：チームキャプテンは、日本協会ユニフォーム規定に準拠したアームバンド、または単色のアームバンドを着用しなければならない。**

(7) 試合時間

① 1次ラウンドおよび準決勝まで

24分間(各ピリオド12分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

※ ただし、1次ラウンドは、参加チーム数により試合時間・計測方法の変更がある。

② 決勝

30分間(各ピリオド15分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

(8) 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)

① 1次ラウンド

準決勝までは延長戦を行わず、PK戦により勝敗を決定する。PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。

② 決勝

6分間(前後半各3分間)の延長戦を行い、なお決しない時にはPK戦により勝者を決定する。延長戦に入る前のインターバルは3分間とし、PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。

(9) 一方のチームの責に帰すべき事由により試合を行うことが不能、または中止となった場合(不戦敗等)には、その帰責事由あるチームは0対5で敗戦したものとみなす。

(10) ピッチエンドは、マッチコーディネーションミーティング時にコイントスを行い決定する。

- (11) メンバー表に記載され、出場資格を有すると確認されている選手が、競技開始前（審判によるエキップメントチェック）に、不在の場合は、第1ピリオドは出場できず、ベンチに入ることもしできない。ただし、第1ピリオドキックオフ後、第2ピリオドキックオフ前にピッチに到着した場合は、ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ることで、第2ピリオド開始時より試合に出場できる。第2ピリオドキックオフ後、ピッチに到着した場合は試合に出場できず、ベンチに入ることもしできない。役員・コーチ等も同様とする。

11. 懲 罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手・役員は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (2) 本大会中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。選手として警告1回、役員としても警告1回を受けた場合も、警告の累積が2回となり次の1試合に出場できない。この場合、通告および審判報告書は2回目に受けた警告で処罰したことにする。
- (3) 前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回のとき、または本大会の終了時で警告の累積が1回の時は、警告の累積は消滅する。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、関東大会を懲罰規定上の同一競技会とみなし、順次消化するものとする。関東大会に出場しない場合は、当該チームの出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。
- (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。委員長は県協会フットサル委員会委員長とする。

12. 組 合 せ 代表者会議のときに行う。

13. 参 加 申 込

- (1) 1チームあたり26名（選手20名、役員5名）ただし、通訳が登録されている場合は6名）を上限とする。
- (2) チーム名は短縮語（FC や SC など）を除き、日本語で表記しなければならない。
- (3) 参加申込みは、大会参加費の振り込みならびに別添の書類に必要事項を記入の上、大会申込書を下記申込期日までにメールで申し込むこと。
- ① 登録票・参加申込書（申込み締め切り日までに、大会担当：梅澤宛メールで申し込むこと）
申込先 （公社）栃木県サッカー協会フットサル委員会 梅澤 奈津希
Eメール：tochigi.ff.2002@gmail.com
- ※ 登録票・参加申込書は送付したエクセル形式で送付すること。PDF は不可。
- ② 大会参加費納入報告書 振込み明細書のコピーを添付すること。
- ③ ユニフォーム広告掲示（回答）の写し（ユニフォームに広告等がある場合）
- ※ ②③は、代表者会議に持参すること。
- (4) 申込み締め切り 2025年9月15日（月祝）
- (5) 前項の申込み締切日以降の参加申込み内容の変更は認めない。

14. 参 加 費 20,000円

振込口座：足利銀行 一条町支店 普通 3298034

（公社）栃木県サッカー協会（一般）代表理事 鈴木 武明

※ 必ず「チーム名」を明記の上、申し込み締め切り日までに振込むこと。

15. 代 表 者 会 議

- (1) 日 時 9月27日（土） 19:00～
- (2) 場 所 （公社）栃木県サッカー協会事務所 宇都宮市鶴田 2-2-10 鈴運テック(株)2階
- ※代表者会議に無断欠席をした場合、不参加扱いとする。
- <会議に持参する物>

- ① 大会参加費納入報告書
- ② ユニフォーム広告掲示

16. 選 手 証

各チームの登録選手は、原則として日本協会発行の選手証（写真を添付により顔の認識できるもの）を持参しなければならない。選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。

※ 選手証とは、日本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

17. マッチコーディネーションミーティング

原則として前の試合の第2ピリオド開始時から行う。ただし、第1試合については30分前とする。15分以上遅刻の場合は、不戦敗（0-5）とする。ユニフォーム（正・副）とビブス（2色）、メンバー表4部（チームで印刷）を持参し、選手証一覧を提出すること。

メンバー表は、大会参加申込書のシートを使用すること。

18. 表 彰 優勝、準優勝のチームに表彰状を授与する。

19. 代 表 資 格

優勝チームは、栃木県代表として、関東大会に出場する義務を負う。

関東大会 2026年1月10日（土）・12日（月祝）・17日（土）、18日（日）

東京都：駒沢体育館・武蔵野の森総合スポーツプラザ

20. 傷 害 補 償 チームの責任において傷害保険に加入していること。

21. 負 傷 対 応

競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

22. そ の 他

- （1）大会参加の注意事項を遵守する。
- （2）試合日程は、大会事務局内で協議し決定する。
- （3）大会事務局判断によるやむを得ない事情で日程やその他要項の変更等が生じた場合、参加チームは指示に応じなければならない。
- （4）大会要項に違反し、その他、不都合な行為のあった個人またはチームは出場を停止する。違反の内容によっては、勝ち点を剥奪もしくはトーナメントを棄権扱いとする場合もある。
- （5）本大会の試合に関する動画・写真等の権利は全て栃木県協会フットサル委員会に帰属する。
- （6）ごみはすべて各チームで持ち帰ること。また喫煙は指定された場以外ではしないこと。
会場内の土足も厳禁とする。
- （7）指定された場所以外では、ボールを使っでの練習は禁止する。
- （8）会場準備および会場の片づけについては、大会事務局の指示に従い参加チームで行うこと。
- （9）県協会および大会事務局は、参加者の負傷、傷病、障害および会場の備品破損に対しては一切の責任を負わないものとする。（チームの責任で処理をすること。）
- （10）参加に要する経費は、すべて参加者負担とする。
- （11）本実施要項に記載のない事項については、大会事務局にて決定する。

23. 問 い 合 わ せ 先

（公社）栃木県サッカー協会フットサル委員会 大会担当 梅澤奈津希

E-mail tochigi.ff.2002@gmail.com